



一つは、家族関係が希薄だった子供のころ。「自分を助けてくれたのが、町の小さな飲食店だったから」と。○…同社は、通信講座、定例勉強会などを通じて、低価格戦略の大手チェーン店とは違った、戦い方・勝ち方



を指導する。無料相談も実施しており「悩み事は何でも相談してほしい」と話す。「早期発見・早期治療」すべく、「飲食店のお医者さん」を目指す考えだ。

Nagoya Business

代のイン・ヨン

春夏トレンドセミナー

「もつたないプロジェクト」を
アピールする横山社長



えんがわ

“もつたない”を合言葉に

環境ビジネス提案へ

独自プロジェクト始動

省エネコンサルのえんがわ（本社名古屋市昭和区花見通3の15・桑原ビル3階、横山宗正社長、電話052・848・8929）は「もつたないプロジェクト」と題したオリジナル事業を開拓する。カーボンオフセットやオフィス廃材などを活用して、環境配慮商品やリサイクル商品、各種サービスを企画提案するもので、「“もつたない”をキーワードに、環境関連事業の輪を広げていきたい」としている。

（今井康紀）

オフセットなど活用

同社は06年設立。電力料金削減などの省エネルギー、資源循環などの省エネルギー、資源循環の企画を手掛ける。今回立ち上げた「もつた

ヨン協会、名古屋産業振興公社）は2日、デザインホール（名古屋市中区）で「2011年春夏季都市コレクション」を開催した。アパレル関係者などが250人が参加した。講師にファッショニ

ジャーナリストの藤岡

篠子氏を招き、4都市

（ニューヨーク、コ

ロム、二度敗手「エ

奇電車」、大人うしきが

存在感を高めている。

藤岡氏は「全体として

ボンオフセットシール

は「社会に貢献したい」

「環境を良くしたい」

「うき思いやる」とい

う気持ちに賛同するア

ライアンス・パートナ

ーを募集。多種多様な

商品やサービスで新た

な環境ビジネスを立ち

上げていくもの。

具体的には、同社が

既に手掛けている、カ

ーボンオフセットを活

用した中古ビジネスフ

ォン販売や、同じくシ

オフセットできるカ

ーを募っていきたい」としている。

同社内に「このほど

「もつたないプロジェクト事務局」を設置。

今後は通信機器開発企

業などを中心に提携先

を募っていく。横山社

長は「代理店を通じて

カーボンオフセットに

参加する企業を募集。

プロジェクトを積極展

開していく」とし

ている。

錦2丁目 結束力と仕掛けで集まちづくり 審査会でトリエンナーレで

錦2丁目まちづくり連絡協議会（山口兼市理事長）は2日、街づくりの今後について意見交換会を開いた。地元関係者や一般客20人以上が集まりた。パネルディスカッションには地元織維問屋

桜通店（名古屋市中区）の経営者や理店経営者

意見交換会を、丹羽幸一（名古屋市中区）の経営者や理店経営者

愛知の食材で弁当やデザート
ミニストップ 9日からフェア